

〔今回の旅人〕 中川直美さん（兵庫県在住）

海の京都・北丹後路へ 撮り鉄ビギナーの冬絶景旅

最近、鉄道写真を撮り始めた中川さん。テレビで見た鉄道写真家の姿に触発され、向かった先は京都にある北丹後路。寒さや荒天に翻弄されるも、海の幸や人々とのふれあいを経て、ほつり暖まるひとり旅になりました。

START 1日目

京都丹後鉄道の観光列車、丹後あかまつ号。アテンダントさんと一緒に



天然木のカウンターで車内限定販売の「丹鉄コーヒー」を堪能

天橋立駅に並んだあおまつ号とあかまつ号



京都府で最も大きな由良川を渡るところを車内から窓ガラス越しに撮影



江戸時代から続く伝統的な手法で作られる由良の地酒の蔵元、ハクレイ酒造。蔵の見学や試飲もできる



① 天の蔵

あまのくら ☎0772-26-0001（ハクレイ酒造）
京都府宮津市由良949 ☎9～17時（受付は～16時）
④ 水曜 ⑤ 無料（前日までに要予約）
☎京都丹後鉄道丹後由良駅から徒歩7分

② 安寿足湯

あんじゅあしゆ ☎0772-26-0245 京都府宮津市市由良762「千軒長者の館」内 ☎10～16時
④ 日・月・火曜、祝日 ⑤ 100円
☎京都丹後鉄道丹後由良駅から徒歩3分

今回の旅のメインテーマ、由良川橋梁の撮影は、暴風雨の中…



☎JR宝塚駅から福知山駅まで、特急で約70分



*京都丹後鉄道「2days天橋立まるごとフリーパス」…京都丹後鉄道全区間の普通列車、快速列車、特急列車自由席及び天橋立の路線バス、観光船、ケーブルリフト、登山バスが、最初の乗車日から2日間乗り降り自由。☎0772-25-2323（京都丹後鉄道。平日9～18時） ⑤4430円

メインの撮影は暴風雨の中

ある日テレビで、鉄道写真家が丹後の由良川橋梁を撮影する映像を目にした。最近、鉄道写真を撮り始めたばかりで、ぜひ訪れてみたかったエリア。ちょうど冬の海の幸と地酒が美味しい季節でもあり、急遽宿と列車を予約。京都丹後鉄道のフリーパスも購入し、海の京都・北丹後路へ向かった。

宝塚から特急で福知山へ。ここから京都丹後鉄道の観光列車「丹後あかまつ号」で天橋立へ向かい、天橋立からは予約していた「丹後あかまつ号」に乗り換える。鯖へしこ寿司と車内販売の天橋立ワインをいただきつつ、アテンダントさんから沿線・鉄道のことや入社の経緯までいろいろなお話を伺い、楽しいひと時を過ごすことができた。

列車が由良川を渡るころ小雨が降りだした。冬は雨や雪が多いエリアとはいえ、このあと由良川橋梁で撮影する予定なのに…。四所駅で乗り込んだ折り返しの列車の車窓は雨。不安なまま丹後由良駅で下車し歩いて20分、由良川橋梁の撮影ポイントの河原に到着したときは暴風雨になっていた。

飛ばされそうになりながらも何とか写真撮影を終え、びしょ濡れのまま江戸末期創業ハクレイ酒造の天の蔵を見学。安寿足湯で暖をとり、駅舎工事関係者の方とお話するうちに、身も心も暖かさを取り戻していった。戻りの列車に乗車するとき、先程の工事の方がホームまで見送りに来てくださり、一気にはつりした空気に包まれた。

豪雨のため予定を切り上げて今宵の宿、

皆さまからのプランをお待ちしています！

「私のひとり旅」では、あなたのとおきの旅プランを募集しています。鉄道旅、趣味の旅、誰かに会いに行く旅など、旅行のスタイルは問いません。あなたにしかできないこだわりのひとり旅をしていただき、その旅の様様をレポートしてください。〈謝礼〉採用された方には、3万円を差し上げます。旅費はご負担ください。

応募要項

以下の所定事項をご記入の上、郵送・FAX・メールにてご応募ください。①名前(フリガナ) ②住所 ③電話番号 ④FAX番号 ⑤読者番号(11桁) ⑥Eメールアドレス ⑦生年月日 ⑧性別 ⑨ご職業 ⑩あなたの旅行プラン(ルートや予算などなるべく具体的に)

郵 送▶ 〒162-8446 東京都新宿区
私方町25-5 JTBパブリッシング
ノジュール「私のひとり旅」係
FAX▶ 03-6888-7839
メール▶ nodule-edit@rurubu.ne.jp
※いずれも「ノジュール 私のひとり旅」と
明記のうえ、お送りください。

④ 元伊勢籠神社

もといせこのじんじや ☎0772-27-0006 京都府
宮津市大垣430 ☎7〜17時(季節変動あり)
⑥④境内自由 ⑥天橋立観光船一の宮棧橋から
徒歩2分

天照大神が伊勢に遷る前、この地に祀られたことから伊勢の故郷といわれている。神聖な雰囲気が漂う



天橋立観光船で12分の船旅。上部デッキでカモメと遊んで大はしゃぎ

天橋立観光船

あまのはしだてかんこうせん ☎0772-22-2164 (丹後海陸交通旅客船営業所) ☎天橋立棧橋発9〜16時、一の宮棧橋発8時45分〜16時45分(季節変動あり) ⑥無休 ④片道530円(天橋立棧橋〜一の宮棧橋)、往復960円 ⑥京都丹後鉄道天橋立駅から天橋立棧橋まで徒歩4分

⑥ 向井酒造 むかいしゅぞう

☎0772-32-0003 京都府伊根町平田67 ☎9〜17時 ⑥不定休 ⑥京都丹後鉄道天橋立駅から丹海バス経ヶ崎行きなどで約1時間、伊根下車、徒歩2分



ハクレイ酒造では、新酒など2種類購入。酒粕をプレゼントしていただいた



女性杜氏の酒蔵、伊根の向井酒造では「ええによば」を購入



⑤ 道の駅・舟屋の里 伊根 みちのえきふなやのさと いね

☎0772-32-0680 (伊根町ふるさと振興公社) 京都府伊根町亀島459 ☎⑥店舗・施設により異なる ⑥京都丹後鉄道天橋立駅から丹海バス経ヶ崎行きなどで約1時間、伊根下車、徒歩20分

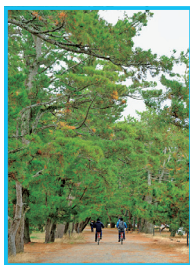
伊根の町並み。約230軒の舟屋が伊根湾を取り囲む。ぜひ見てみたかった光景



傘松公園の展望スカイデッキから日本三景「天橋立」を撮影

⑦ 傘松公園

かさまつこうえん ☎0772-27-0032 (丹後海陸交通成相営業所) 京都府宮津市大垣75 ☎8時〜16時30分(ケーブルカー・営業時間。季節変動あり) ⑥無休 ④入園無料 ⑥天橋立ケーブル下からケーブルカー(片道330円、往復660円)で4分



天橋立の松林を散策。全長3600m、幅20〜170mと意外と広い

ここしかない世界

翌朝目覚めると、朝焼けに輝く対岸の山はうっすらと雪化粧。土鍋焚きご飯の朝食をいただいてから出発だ。智恩寺のすぐ横の天橋立棧橋から天橋立観光船で対岸の一の宮棧橋に向かう。寒いが屋上デッキはカモメと遊ぶことができ、乗船時間はあっという間だ。

元伊勢籠神社参拝の後、バスで30分ほど揺られて伊根に向かう。入江を取り囲むように約230軒の舟屋が静かに佇む町だ。高台にある道の駅舟屋の里伊根からの壮大な風景には、ここにしかない世界感が溢れる。移り行く時の流れをゆっくり感じてみたいと思うところだった。

向井酒造で土産を購入した後、バスで天橋立に戻り、ケーブルカーで天橋立が一望できる傘松公園へ向かった。遠くの雪を冠った山、近くの紅葉の残った景色、雨に煙る情景が心に残った。

天橋立の松林を散策後、帰りは福知山まで京都丹後鉄道の「丹後の海」車両に乗り。北丹後の情景と食の幸を堪能し、地元の方々と一期一会の優しいふれあいを感じた旅だった。